

人材不足
人が足りない…

資金不足
予算が無い…

キヤパ
余裕が無い…



こんなときこそ、
デザインです。



これからの事業に 必要なデザイン

—小さく生んで、大きく育てる—

《 令和5年度デザインシンポジウム 》

生み出した価値を「伝わるかたち」に仕立て、成長サイクルへと育てた事例から、
デザインの使いどころ・使い方に迫ります。

2024 **2.26** 月 14:30-16:30

開場・受付開始
14:00

開催会場

秋田県庁第2庁舎8階 大会議室 (秋田市山王三丁目1番1号)

対象者

県内の製造業(食品・工業製品・部品、家庭用品・伝統工芸・作家等)、
クリエイター(デザイナー、ディレクター等)、支援機関、金融機関、学生等

定員

100名

受講料

無料

参加方法

こちらからお申し込みください▶

特設サイト



シンポジウムの詳細については裏面をご覧ください

開催事項／タイムスケジュール

14:30	開催挨拶	公益財団法人 あきた企業活性化センター 理事長 妹尾 明
14:35	事業紹介	『あきた産業デザイン支援センター事業について』 公益財団法人 あきた企業活性化センター 知財・デザイン支援課 課長補佐 武藤 貴臣
14:40	第 1 部	<p>演題 「価値を最大化するデザイン」 (30分)</p> <p>確かな品質でファンを増やし、成長し続ける米菓ブランド「鼎庵」。裏付けされた商品力、納得を生むストーリー、それを魅力的に伝えていくデザイン。それらはどのように生まれ、活用していったのか。成長サイクルに必要なデザインに迫ります。</p> <p>講師 有限会社鼎屋 代表取締役 米田 賢吾 氏</p> <p>米田氏の父が 2004 年に創業した特産品卸の鼎家（かなえや）を 2014 年承継。同年発売の人気商品「稲庭かりんとう」を皮切りに自社商品を増やし、2019 年には新工場・直営店の営業を開始。その後、秋田駅ビル・トピコ店を開店した。現在は首都圏のデパートなどに積極的に出店している。</p>
15:20	第 2 部	<p>演題 「これからの事業に必要なデザイン」 (40分)</p> <p>変わり続ける社会情勢の中、人々に訴え、伝わるデザインとは？ 大手食品メーカーや地域の小規模メーカーなど作り手への支援、売り先である全国チェーン店や地域商店との関わりの中で見えてきたこれからの事業に必要なデザイン、その条件を探ります。</p> <p>講師 KUBO 中小企業診断士事務所 一般社団法人エコ食品研究会 代表理事 久保 正英 氏</p> <p>食品関連企業や飲食店を中心に、販促や集客手法、商品開発等の支援を行っている。全国の中小小規模事業者への支援は、2010 年から延べ 1,000 件以上（事務所スタッフ 4 名にて）の実績があり、大手事業者もロッテや明治製菓、湖池屋、イトーヨーカ堂等 50 件を数える。支援手法は、「中小企業経営診断シンポジウム第 1 分科会」にて 2016 年「中小企業庁長官賞」を受賞し、さらに 2021 年には「日刊工業新聞社賞」を受賞する等、全国で活躍の場を広げている。</p>
16:10	質疑応答	
16:30	閉 会	



注意事項

- ・本シンポジウムの録画・録音・撮影・転載等は固くお断りいたします。
- ・本シンポジウムにより知り得た事業者等の秘密情報の開示、遺漏、使用等につきまして禁止いたします。
- ・セミナー中は記録のために録画・写真撮影等を行います。

お申し込みについて

参加希望の方は右の QR コードを読み込み、特設サイトのフォームからお申し込みください。メールまたは FAX からの申し込みも可能です。必要事項をご記入のうえ、下記のアドレスまたは FAX 番号宛てにお送りください。【お申し込み締切】2024年 2月 21日(水)17:15まで



参加者名	居住地 (県及び市町村)	
企業・団体名	連絡先	TEL
		E-mail
参加方法	希望する参加方法いずれか 1 つに <input checked="" type="checkbox"/> をしてください。後日配信視聴をご希望の方は別途詳細をご連絡いたします。 <input type="checkbox"/> 会場参加 (秋田県庁第 2 庁舎 8 階) <input type="checkbox"/> 後日配信視聴 (YOUTUBE での限定公開)	
備考欄		

お問い合わせ先

公益財団法人 あきた企業活性化センター 知財・デザイン支援課 (担当: 武藤、木村)

TEL 018-860-5614 FAX 018-863-2390 E-mail info@idsc-akita.net